

# 経営情報 2007.7月度

## Monthly Report



(東証1部 コード9616)

灼熱の夏からようやく開放され、朝晩の空気がさわやか季節となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか？  
さて今回のQ&Aは、第1四半期決算についての解説です。どうぞご覧下さい。



### 共立メンテナンスグループ

## 1. セグメント別(事業別) 売上状況 (7月度)

今期18棟がオープンした寮事業、特に社員寮は、“企業様の若年者層採用の活発化”によりニーズの高まりをみせ、単月・累計とも前期比110%となっております。リゾート事業は、前期オープンした4棟が通年稼働により寄与、更に今期5月にオープンした2棟も加わり、単月で前期比197%（累計202%）となっております。新設棟は更に認知度を高めるよう努めてまいります。イン事業も今期オープンした3棟の寄与により、単月で前期比144%（累計160%）、全体では単月で前期比123%（累計117%）となっております。

単位：百万円

	7月度実績			4~7月度実績 月度累計		
	当月実績	前期比%	前期実績	当期累計	前期比%	前期累計
寮事業	2,860	107%	2,671	13,058	107%	12,224
学生寮	1,603	104%	1,535	7,892	105%	7,528
社員寮	775	110%	705	3,241	110%	2,951
ドミール	272	111%	244	1,098	111%	993
受託寮	210	112%	187	827	110%	752
ホテル事業	1,595	170%	936	6,003	181%	3,321
リゾート事業	913	197%	463	3,318	202%	1,645
イン事業	682	144%	473	2,685	160%	1,676
総合ビルマネジメント事業	3,551	391%	909	6,390	167%	3,818
フーズ事業	368	119%	310	1,675	133%	1,255
その他事業	341	99%	345	1,344	98%	1,378
ウェルネスライフ事業	42	91%	46	184	100%	184
その他	299	100%	299	1,160	97%	1,194
(小計)	8,715	169%	5,171	28,470	129%	21,996
デベロップメント事業	57	3%	1,946	515	19%	2,769
合計	8,772	123%	7,117	28,985	117%	24,765

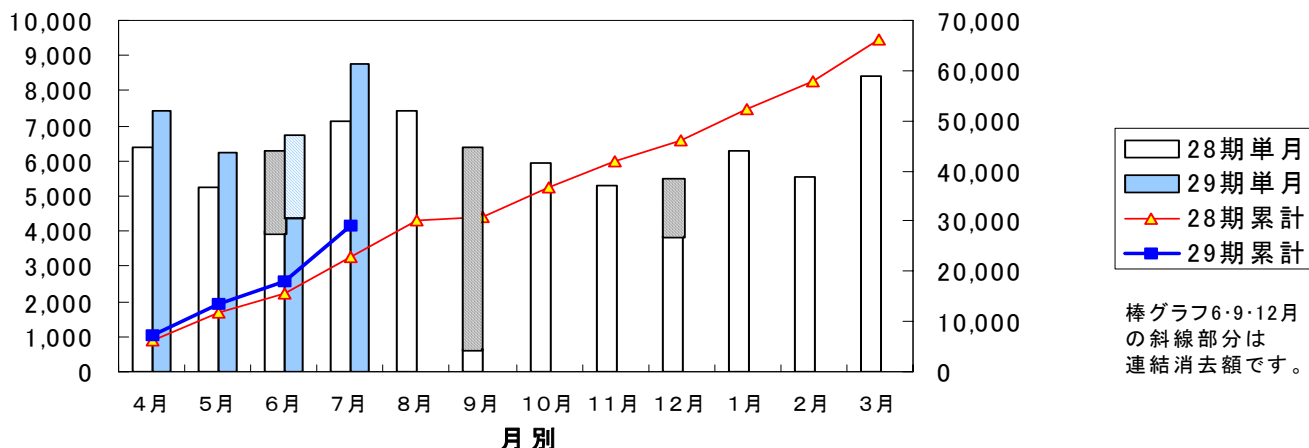
※2006年10月より、スパ事業は(株)共立フーズサービス社へ移管しました。

注) 本報告書の財務数値は、監査法人による会計監査を受けておりません。比較数値は小数点第1位四捨五入とします。  
使用している数値は速報値であり、後日確定するものと差異が出る可能性があります。また数値はグループ各社の単純合計により、連結消去等を行っておりません。ただし、(株)共立フーズサービスに移管した受託食堂の売上の重複消去のみ行っております。

単月売上高  
(単位：百万円)

グループ全体売上高推移

累計売上高  
(単位：百万円)



棒グラフ6・9・12月の斜線部分は連結消去額です。

## Ⅱ. 共立メンテナンスグループQ&A

ここは、皆様のなぜ?にお答えするコーナーです。  
皆様のご質問をお待ちしております!

### Q. 四半期決算について、ホームページ等を見ればわかるようですが、マンスリーレポートでも報告していただきたい。

平成20年3月期第1四半期の連結業績(平成19年4月1日～6月30日) (百万円未満切捨て)  
(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第1四半期	18,047	15.4	1,570	△15.8	1,430	△22.1	850	△13.4
19年3月期第1四半期	15,644	4.3	1,865	6.1	1,836	13.6	982	4.2
19年3月期	66,287	5.1	3,745	△18.8	3,787	△21.5	2,413	20.0

### A. 第1四半期決算について簡単にご報告いたします。

まず当社事業の特徴として、「寮事業」は4月に新入寮生を迎え、契約金の計上が期初に集中することから、第1四半期は利益が高め、一方「ホテル事業」は、本格的なリゾートシーズン直前という季節要因から売上は低めの傾向にあります。当第1四半期については、グループ全体で、売上高18,047百万円(前年同期比15.4%増)、営業利益1,570百万円(年々同期比15.8%減)、経常利益1,430百万円(前年同期比22.1%減)、第1四半期純利益850百万円(前年同期比13.4%減)と、前期に比べて低めの利益水準となっておりますが、これはホテル事業における新規開業準備費用等の発生、及びデベロップメント事業における物件の引渡時期等の要因によるもので、ほぼ計画通りの推移となっております。以下、各事業の概況です。

★寮事業：18棟の新規オープン寮を含め好調に推移し、6月末の稼働契約数は26,323名(前年同期比1,240名増)、売上高10,257百万円(前年同期比6.9%増)、営業利益2,228百万円(前年同期比10.8%増)となりました。

★ホテル事業：ドリーミン(ビジネスホテル)事業は、既存棟に加え、新規オープンの3棟〔ドリーミン梅田東ノラビスタ釧路川ノドリーミン仙台駅前〕も安定的に高稼働で推移。またリゾート事業では、新たに2棟〔ラビスタ大雪山ノ深山桜庵〕がオープンした結果、売上高4,351百万円(前年同期比71.4%増)、営業損失355百万円となりましたが、これは季節要因による例年の特性と、新規開業準備費用の発生が要因であり、計画に織込み済みのものです。

★総合ビルマネジメント事業：事業の拡充・基盤強化に積極的に取り組んだものの、厳しい新規市場競争、また既取引先からの受注額圧縮用等が続く中、売上高2,697百万円(前年同期比3.0%減)営業利益90百万円(前年同期比40.3%減)となりました。

★デベロップメント事業：ニーズの高い大都市圏を中心に寮・ホテルの開発に注力しましたが、当第1四半期中の物件引渡等が少なかったため、売上高457百万円(前年同期比44.3%減)、営業損失49百万円となりました。

### ★ ホテルオープン情報 ★

9/1 「天然温泉 甲斐路の湯 ドリーミン甲府」  
「天然温泉 天北の湯 ドリーミン稚内」  
グランドオープン

10/15 「南紀白浜 浜千鳥の湯 海舟(かいしゅう)」  
プレオープン

### 「日経IRフェア」出展のご報告

8月31日(金)9月1日(土)、東京ビッグサイトで開催された個人投資家様向けIRイベント「日経IRフェア」に出展いたしました。当社展示ブースには、両日で推定550名の方にご来場いただきました。

また会社説明会も満席で、100名を超える方にご参加いただきました。ご来場いただいた皆様、誠にありがとうございました。尚、出展決定が急だったため、本紙におきましては事前のご案内ができなかったことをお詫び申し上げます。

